寄稿

藤野陽三会員が服部報公賞を受賞 Member, Dr. Yozo Fujino Received Hattori Hoko Award

勝地 弘*
Hiroshi KATSUCHI

横浜国立大学先端科学高等研究院の上席特別教授であられる藤野陽三会員(元会長)におかれては、このたび(公財)服部報公会から2015年度の報公賞を受賞されました。

財団によると、この報公賞は、服部財団が工学に関する研究を奨励援助し、もって学術及び科学技術の振興と進歩発展に寄与することを目的として行っている事業の1つであり、工学の進歩に著しく貢献した顕著な研究業績に対し贈られるものです。服部報公会は、昭和5年に(株)服部時計店(現在、セイコーホールディングス(株))の創業者であり初代社長の服部金太郎氏が、70歳の誕生日を向かえたのを機に、国家、社会の恩に報ずるために、私財を投じて設立された公益事業団体です(<http://www.hattori-hokokai.or.jp/>)。

藤野陽三先生のこれまでの長年にわたる風工学をはじめとする構造物の振動予測や制御、モニタリングに関する研究が高く評価されたもので、土木工学分野では初めての受賞とのことです。また、過去にはノーベル賞を受賞された湯川秀樹博士も1938年にこの賞を受賞されており、非常に名誉ある賞でもあります。去る10月9日に日本工業倶楽部にて贈呈式があり、賞状と賞金1000万円そして副賞としてお揃いのセイコークレドール腕時計が授与されました(写真-1)。

藤野陽三先生は、現在、横浜国立大学の先端科学高等研究院の「社会インフラストラクチャの安全研究ユニット」の主任研究員として、我が国の膨大なインフラスト

ラクチャが高齢化する時代において、安全で事故や災害に対して強靱なインフラ構築に向けて、センシング、ロボット技術などの先端技術の活用により効率的なインフラマネジメント技術の構築、海外への展開に尽力されています。さらに、内閣府が主導する「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」においては、「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」のプログラムディレクターとしてもご活躍で、非常に多忙な日々を送られています。

藤野陽三先生のこの度の受賞を契機に、今後のますますのご活躍と後輩への指導をお願いするものであります。

写真-1 贈呈式にて令夫人とともに

* 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授
Professor, Faculty of Urban Innovation, Yokohama National University